

類別: 機械器具 (25) 医療用鏡

一般的名称: 双眼ルーペ JMDN32692000

# YAMAMOTO ルーペグラス BLS

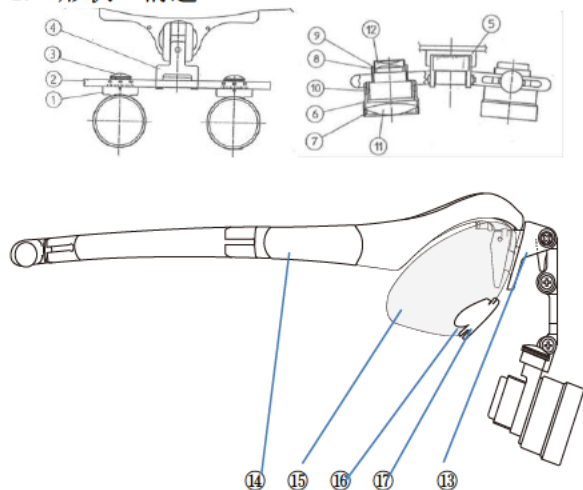
### 【禁忌・禁止】

使用方法に係る禁忌

- ・滅菌はしないこと。
- ・検者の危険防止のため、本器を使用中に太陽光や強い光源を直接見てはいけない。
- ・トラブル防止のため、汚れた場合でも水、アルコール溶液等液体に浸したり洗ったりしてはいけない。

### \*\*【形状・構造及び原理等】

#### 1. 形状・構造



各部の名称

NO	名称	NO	名称
①	取付け枠	②	ガイト
③	固定ネジ	④	ヒンジ
⑤	サポートホルダー	⑥	レンズ枠
⑦	リング A	⑧	鏡筒
⑨	リング B	⑩	スライトピン
⑪	対物レンズ	⑫	接眼レンズ
⑬	連結部品	⑭	フレーム
⑮	シールド	⑯	鼻ハット
⑰	鼻台		

#### 2. 原理

対物レンズから入射してきた光線は接眼レンズを通り検者眼に到達する。  
 双眼であるので立体視できる

### 【使用目的又は効果】

小型望遠鏡として機能し、作業野の拡大像が得られる。

### 【使用方法等】

#### 1. ルーペの瞳孔距離 (PD)

調整鏡筒部上部の固定ネジを少し緩め左右に動かして調整します。片眼で調整して、影が見えている時にはその方向へPDを微調整し、影が見えない位置でネジを固定します。

もう一方の眼でも同様に調整し、両眼で見たときに影が無い事を確認してネジをしっかりと固定してください。

表示されている距離は瞳孔距離で、単位はmmです。

#### 2. 観察距離の調整

鏡筒の先端部を右に回すと観察距離が短くなり、左に回すと観察距離は長くなります。両眼で観察したいときに左右が同じ丸に見えた位置に、鏡筒の先端部を回して観察距離を調整してください。(はっきり見えるように調整) 観察距離を変更することもできますが、左右の鏡筒の内角は変わりませんので、左右の像が少しズレた状態になります。

### \*\*【使用上の注意】

- ・滅菌をしてはいけない
- ・本器が汚れた場合でも水、アルコール溶液等液体に浸したり洗ったりしてはいけない。
- ・シールド越しであっても絶対にレーザービームを直接のぞきこまないでください。

### 【保守・点検に係る事項】

- ・取扱説明書を参照のこと。

### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者

名称: 山本光学株式会社

住所: 大阪府東大阪市長堂 3-25-8

電話番号: 06-6783-1101

取扱説明書を必ずご参照ください

# YAMAMOTO ルーペグラス BLS/BLD 取扱説明書

この度は、本製品をお買い上げいただきましてありがとうございます。

本製品を正しく安全に使い、機能を十分に生かしていただくため、ご使用前に必ずこの説明書をお読みください。

この説明書は、読み終わった後も大切に保管してください。

本製品はルーペ付グラスですが、本製品の使用によって眼及び身体等への損傷の可能性がなくなることを保証するものではありません。

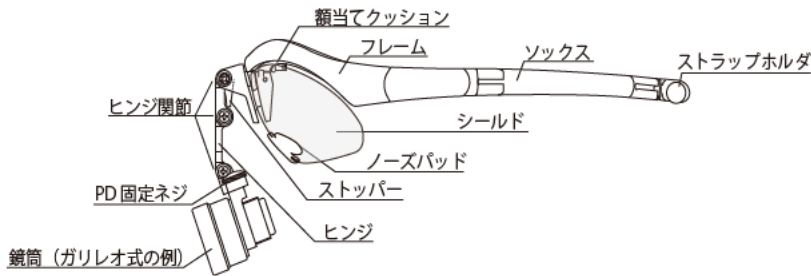
## 1. 本製品使用前の注意

本製品は弊社品質基準に合格しております。しかし、輸送途上等で製品にキズや変形が生じるおそれがあります。ご使用になるときは、必ず事前に点検してください。

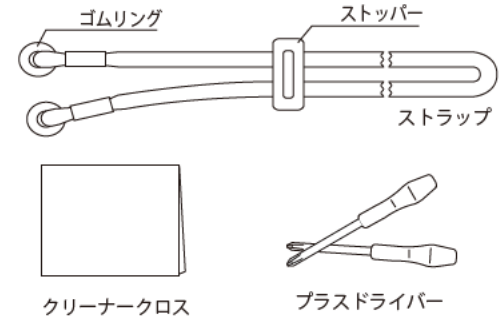
<b>警告</b>	強い衝撃を与えたり、投げつけないでください。
	ストラップが巻き込まれたり引っかかる恐れのある場所では使用しないでください。
	ルーペで直接太陽を見たり、直射日光下で使用しないでください。
	ルーペを直射日光の当たる場所に放置しないでください。火災や故障の原因となります。
<b>注意</b>	お手入れの際は、シンナーなどの揮発性溶剤、磨き粉、熱湯などを使用しないでください。
	本セットの標準品以外の組み合わせでは使用しないでください。
	滅菌処理を行わないでください。
	分解・改造をしないでください。
	取付ネジが緩んだ場合は必ず締めなおしてください。

## 2. 各部の名称

<ルーペ本体>

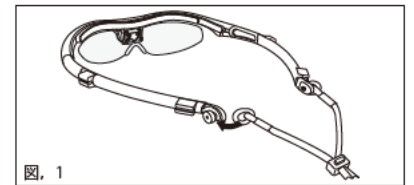


<付属品>



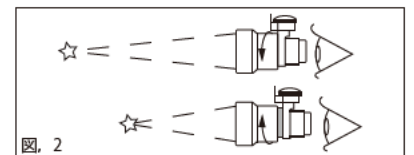
## 3. 着用の留意点

- ①めがねを掛け外する時は、「フレーム」を必ず両手で持って行ってください。片手で行うとめがねに負担が掛かり製品破損の原因になります。
- ②めがねのズレを防止するために付属のストラップのゴムリングをストラップホルダにかけてご使用ください。また、ストラップのストッパーを頭の大きさに合わせて調整してください。(図, 1)



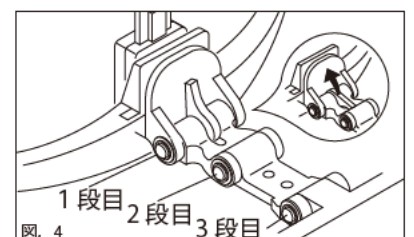
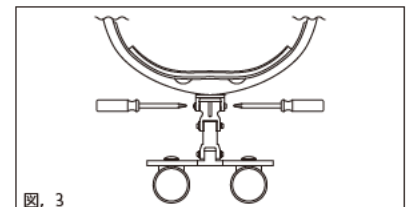
## 4. ルーペ部の調整方法

- ①鏡筒の位置や角度は3ヶ所のヒンジ関節により自由に調整できます。視野がせまくなるように鏡筒と眼は近づけて使用してください。
- ②PD(瞳孔距離)が合わない場合は、PD固定ネジを左回りに少し緩め、鏡筒を左右にスライドさせて調整してください。
- ③観察距離が合わない場合は、鏡筒を左に回すと観察距離が長くなり、右に回すと短くなります(図, 2☆)。両眼で観察したとき、左右とも同じように見えるように調整してください。



<ヒンジ関節のある製品の場合>

- ④ルーペの位置を調整する場合は、ヒンジの動き具合をヒンジ関節のネジを回し調整してください。両側からプラスドライバーを垂直にしっかりと押し当てて回します。きつく締めておけば、位置がずれることなく同じ配置で使用することができます。また、1番上段(1段目)のネジのみをやや緩めに締めておけば、そこを支点に鏡筒を跳ね上げることができます。調整中や調整後にネジの脱落のないように注意してください。
- ⑤ヒンジの跳ね上げ後、元の位置に復帰しやすくなるためのストッパーを使う場合は、ヒンジ関節の2段目と3段目のネジを関節が動きにくいように固めに締め、1段目のネジを緩めに締めてストッパーを内側から引き起こしてください。そのままの状態でもルーペ本体を装着し、鏡筒をゆっくりと最適な位置におろしたら再度跳ね上げてルーペ本体を外します。最後に、1段目のネジを少し緩めに増し締めをしてください。(図, 3/図, 4)



5. 保守・保管

取扱いは丁寧に行ってください。

①ルーペレンズやシールドにキズが付かないように取り扱ってください。

●ルーペレンズやシールドを直接他の物体に接触させないでください。

②常にルーペやレンズをきれいにしてください。

●ルーペのレンズは指で直接触らないように注意してください。

●汚れた場合はレンズクロスで優しく拭くか別売のレンズクリーナーなどを使用してください。

●シールドにゴミ、ホコリ、鉄粉などが付着した場合には、水に浸し指先で汚れを落とす後、柔らかい布地などで軽く拭いてください。

●本製品の樹脂部分については、有機溶剤、酸、アルカリの種類によっては変形・破損の可能性がありますので、これらの薬品を洗浄には使用しないでください。

●消毒が必要な場合は、消毒用アルコールを染み込ませたガーゼ、布などで製品を拭き取り、処理後はしっかりと液分を拭き取ってから使用してください。

③長期間使用していると、耐衝撃性や耐摩耗性が低下したり、ネジの緩みが起こることがあります。

ご使用毎に点検して安全を確認してください。

④強い衝撃を受けた場合には、目で確認できないキズ・亀裂が入っている場合がありますので、再使用しないでください。

⑤使用後は汚れを落とし、粉じん等が付着しないよう専用ケースに入れて保管してください。

⑥直射日光の当たる場所、高温の場所、有機溶剤を使用する場所には保管しないでください。


6. 正常に動作しないとき

正常に動作しないときは以下の内容をご確認ください。

症状	ご確認事項	対処について
ぼけて見える 左右の見え方が異なる	レンズが汚れていませんか？ 異物がついていませんか？	クリーニングをしてください
	鏡筒が回転して観察距離がずれていませんか？	観察距離の調整をおこなってください
2重に見えて 両眼視ができない	左右の鏡筒は一点に向かって内向きになっているため、観察距離を大きく変更した場合には両眼視を行いにいくことがあります。	観察距離のほぼ中間距離で使用してください
見える範囲が狭い	眼と鏡筒が離れていませんか？	鏡筒が眼に近づく位置に調整してください
鏡筒がずれる	ヒンジ関節のネジやPD固定ネジは緩んでいませんか？	確認し締めこんでください
観察距離が仕様と異なる	個人の視度により異なります。	必要に応じて視力矯正をしてご使用ください

7. レーザ保護シールドの取扱いについて

①下記注意項目をよく読んでからご使用ください。

<div style="text-align: center;">  </div>	<b>警告</b>	光学性能一覧に記載の適用波長のレーザー光以外に使用しないでください。
		レーザー危険区域ではこのシールドを使用し、作業中はシールドを外さないでください。
		シールド越しであっても <b>絶対にレーザービームを直接のぞきこまないでください</b> 。眼の障害や本製品が破損・損傷する場合があります。
		溶接用しゃ光シールドとして使用しないでください。
		一度でも大きなレーザーエネルギーを受けたり、損傷が発生した場合は、使用しないでください。

②レーザー光による照射跡等がある場合はそのまま使用しないでください。

レンズや各パーツを修理する際は下記問い合わせ先に連絡して修理を行ってください。

③直射日光や高温の場所では変形することがあります。レーザー加工機などの近辺での使用の際にはご注意ください。

④このシールドにはレンズの呼称、吸収する波長もしくは波長の範囲、および吸収する波長における光学濃度が表示されています。おのおののレンズにて適用されるレーザーおよび波長は下表に示すとおりです。

詳細なレンズ性能は、HPにてご確認ください。

<https://www.yamamoto-kogaku.co.jp/safety/product/category03.php>



●光学性能一覧

本製品	フィルタの呼称 (フィルタコード)	カラー/可視光線透過率 (%)	適用レーザーの種類	適用波長 (nm)	光学濃度 (OD)
	エルビウムヤグ・炭酸ガス (D-036)	クリア /85%	Er:YAG レーザ	2940nm	3.5<
			CO2 レーザ	10600nm	6.0<
	ヤグ・炭酸ガス (D-038)	グリーン /50%	Nd:YAG レーザ	1064nm	6.0<
			CO2 レーザ	10600nm	6.0<
	半導体・炭酸ガス (D-037)	ピンク /30%	半導体レーザー	800-810nm	6.0<
			CO2 レーザ	10600nm	6.0<

※製品に関するお問い合わせ

**山本光学株式会社**

〒577-0056 大阪府東大阪市長堂3-25-8

本社 TEL 06-6783-1101 東京支店 TEL 03-3868-5503

URL <https://www.yamamoto-kogaku.co.jp>